

薬剤の 供給不足について

現在不妊治療で使用する薬剤

FSH/HMG製剤 黄体ホルモン製剤

が全国的に供給不足の状態となっています。全国の不妊クリニック・病院全てが影響を受けています。これは、昨年4月からの保険適用拡大による治療数の増加、ヨーロッパから日本への流通網の変化、世界的なコロナ禍の混乱、国際紛争など様々な要因によるものと考えられます。

厚労省には早期改善を働きかけておりますが、この状況がいつ正常化されるか見通しが立たず、いまだ対応策の提示もない状況です。

ですが、当院は現状入手可能な薬剤を最大限工夫し大切な治療周期を無駄にすることの無いよう、現状で出来る最善の治療法をご提案、ご提供いたします。皆様には何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

院長 見尾保幸